

着地型観光「伊賀ぶらり体験博覧会 いがぶら 2015」の パートナーを募集します



市では、「観光立市」をめざし、地域全体で観光客を受け入れる体制づくりのため、昨年に引き続き着地型観光「伊賀ぶらり体験博覧会 いがぶら 2015」を実施します。

◆着地型観光ってなに？

着地型観光とは、観光事業者だけでなく商業者や農業者、NPO、自治協議会組織など、直接観光業に関係のなかった人にも、独自のおもてなしプログラム（有料）を考案いただき、市全体で観光メニューとして発信するものです。

◆集客アップ、農産物のPR、地域の絆づくりなど、目的はさまざま

飲食業などの集客アップ、地域活動の資金作り、都市農村交流による過疎化対策、新たな事業を始めるきっかけ作りなど、さまざまな目的を達成する手段としてご利用いただけます。

皆さんの参加を心よりお待ちしております。

豊富なテーマから選べます♪

募集メニューのテーマ

「食」

「自然」

「歴史（文化・伝統工芸）」

「美と健康」

「まち・むら歩き」

「忍者・芭蕉」

料金や手法を自由に設定できます

おもてなし事業の実施者をパートナーと呼び、期間中の都合の良い日時におもてなしプログラムを実施して

いただきます。

プログラムの料金・募集人数（最少催行人員）もパートナー自身で自由に決めていただけます。お客様は現地集合・解散が基本です。

★パートナーになるとこんなメリットが

おもてなしプログラムをカタログや公式ウェブサイトに「いがぶら」に掲載します。
※カタログは、市内各施設・店舗のほか、県内・中部・関西で配布します。
※パンフレットなどへの掲載料は無料ですが、事務手数料として売り上げの5%を事務局にお支払いいただきます。

「いがぶら」はこんなしくみ

お客様には、主に公式ウェブサイトで予約をしていただきます。パートナーは、プログラムの編集や参加申し込み状況の把握などを行っていただくことができます。お客様の料金は、現地（プログラム

開催時）での支払いとなります。

▼実施までの予定

① 4月1日（水）～5月31日（日）
パートナーからおもてなしプログラムのエントリーを受け付けます。

② 4月10日（金）・11日（土）
（ヒルホテルサンピア伊賀伊賀の間）

プログラム作りのための研修会（事前に予約してください。）

○ 4月10日（金）

第1回：午後2時～

第2回：午後6時30分～

○ 4月11日（土）

第3回：午前9時30分～

第4回：午後1時30分～

※各回、2時間30分の予定

③ 8月上旬

パンフレット・公式ウェブ

サイト完成、PR開始

④ 10月1日（休）～12月6日（日）

おもてなしプログラムの

実施

▼申込期限・申込方法

5月31日（日）必着
参加を検討する人は、原則として4月10日・11日の研修会にお申し込みください。参加申込書を持参・ファックス・メールのいずれかで期日までに提出してください。

※市ホームページから、参加申込書などがダウンロードできます。

研修会などの申し込みはこちら！

【申込先・問い合わせ】

（株）まちづくり伊賀上野

☎/FAX 050-5204-2828

✉ igaburari@gmail.com

【問い合わせ】

観光戦略課

☎ 22-9670 FAX 22-9695

✉ kankou@city.iga.lg.jp



観光メニューがこの一冊に。

▲昨年度のパンフレット

◆ 救える命を救うために

救急車を正しく使いましょう

【問い合わせ】消防救急課

☎ 24-9116 FAX 24-9111

近年、全国的に救急車の出動件数・搬送人員はともに増えており、救急隊の現場までの到着時間も遅くなっています。

また救急搬送された人の約半数が入院を必要とし

ない軽症という現状もあります。

しかし、なかには重大な病気やけがの可能性もあるため、迷ったときは次の表を参考に救急車を呼んでください。

《ためらわずに救急車を呼んでほしい症状》

	大人	小児（15歳未満）
頭	○突然の激しい頭痛 ○突然の高熱 ○支えなしで立てないくらいふらつく 	○頭を痛がってけいれんがある ○頭を強くぶつけて出血が止まらない、意識がない、けいれんがある。
顔	○顔半分が動きにくい ○口や顔の片方がゆがむ ○ろれつがまわりにくい ○ものが突然二重に見える 	○くちびるの色が紫色で、呼吸が弱い 
胸や背中	○突然の胸痛 ○急な息切れ、呼吸困難 ○痛む場所が移動する	○激しい咳やゼーゼーして呼吸が苦しく、顔色が悪い
腹	○突然の激しい腹痛 ○持続する激しい腹痛 ○吐血や下血がある 	○激しい下痢や嘔吐で水分が取れず、食欲がなく、意識がはっきりしない ○激しいおなかの痛みで苦しがり嘔吐が止まらない
手足	○突然のしびれ ○突然片方の腕や足に力が入らなくなる	○手足が硬直している
意識障害	○返事がない、またはもうろうとしている	
けいれん	○けいれんが止まらない、止まっても意識が戻らない	
じんましん	○虫に刺されたり何かを食べて、全身にじんましんが出た。顔色が悪くなった	
けが・やけど	○大量の出血を伴う外傷 ○広範囲のやけど、痛みのひどいやけど	
飲み込み	○食べ物をのどにつまらせて呼吸が苦しい ○異物を飲み込んで意識がない 	
事故	○交通事故、水におぼれた、高所からの転落など	

◆ 救急車が必要か判断に迷ったとき

伊賀市救急相談ダイヤル 24

☎ 0120-4199-22

◆ 自分で病院へ行けるけれど診察が可能な病院がわからないとき

三重県救急医療情報センター

☎ 24-1199



そのほかに、いつもと様子が違う場合などの緊急時は迷わず 119 番してください。119 番のかけ方や応急手当の方法は、お問い合わせいただくか、市ホームページをご覧ください。

症状に緊急性がなくても「交通手段がない」「どこの病院に行けばよいかわからない」「便利だから」と救急車を呼ぶ人がいます。救急医療は限りある資源です。皆さん自身の安心のため、救急車を上手に活用しましょう。

